

搭乗橋、AIで自動装着

関西エアポート 大阪空港に2基

関西エアポート（大阪府泉佐野市、山谷佳之社長）は大阪国際空港に人工知能（AI）を用いて、航空機とターミナルビルをつなぐ搭乗橋を航空機に完全自動装着するフルオートシステムを導入した。AIと画像認識技術で航空機のドアを認識し、ボタン操作のみで搭乗橋の装着完了まででき、操作性や安全性、効率の向上につながる。導入期間は2024年6月末まで。

搭乗橋2基に新明和工業が設置した。航空機の搭乗と降機で使う可動式通路である搭乗橋の装着を自動化することでヒューマンエラーを防いで安全性が高まる。

従来、人が操作するため装着の精度が個人の技量に左右されていた。自動化でやり直すことがなくなり、定刻運航維持や旅客の機内待ち時間短縮につながる。